

株式会社〇〇工業

御中

令和4年度補正予算 中小企業等に向けた省エネルギー診断拡充事業費補助金

診断報告書

令和5年2月13日

診断対象者	株式会社〇〇工業			
診断実施場所	株式会社〇〇工業 △△事業所			
登録診断機関	省エネ診断株式会社			
支援活動実施者	専門家	省エネ 次郎		
	専門家			
	準専門家			
省エネ診断実施日	令和5年2月10日			
報告会実施日	令和5年2月15日			
省エネ診断プラン	設備単位プラン			
対象設備区分	空調設備	-	照明設備	-
	ボイラ・給湯設備	○	工業炉	-
	受変電設備	-	冷凍冷蔵設備	-
	コンプレッサ	-	生産設備	-
	給排水・排水処理	-	デマンド	-

診断総括

1. 総括

事業所において、使用しているエネルギーの割合はガス(LPG)が9割以上となっており、ガス(LPG)の主な使用先としては乾燥工程における熱風等に使用しています。
 今回の診断で運用改善1件、投資改善1件を提案しています。
 運用改善提案については、比較的实施が容易であるため、稼働が低い時期での取り組みを期待しております。

2. エネルギー使用状況・省エネポテンシャル

① 工場・ビル等における全体のエネルギー使用量

	<エネルギー種別>	<使用量>	<原油換算>
電気		38,900.0 kWh	9.795 kl
ガス	ガス(LPG)	70,000.0 kg	91.745 kl
その他1			kl
その他2			kl
合計			101.540 kl

② 診断対象設備のエネルギー使用量(任意)

	<エネルギー種別>	<使用量>	<原油換算>
電気		20,000.0 kWh	5.036 kl
ガス	ガス(LPG)	50,000.0 kg	65.532 kl
その他1			kl
その他2			kl
合計			70.568 kl

③ 診断対象設備のエネルギー削減量(任意)

	<エネルギー種別>	<使用量>	<原油換算>
電気		2,780.0 kWh	0.700 kl
ガス	ガス(LPG)	10,680.0 kg	13.998 kl
その他1			kl
その他2			kl
合計			14.698 kl

④ 省エネポテンシャル ※原油換算値での比較 (任意)

現状の 原油換算値				改善後の 原油換算値
101.540 kl	運用改善 0.700 kl	投資改善 13.998 kl	原油削減量 14.698 kl	86.842 kl

診断詳細

3. 省エネ診断メニュー

＜対象設備＞ ボイラ・給湯設備					
診断内容	設定温度の変更				運用改善
詳細	ヒートポンプ給湯器の沸き上げ温度が90℃に設定されており、放熱量が多い状況となっています。沸き上げ温度設定値を下げて、消費電力を削減することが可能です。設定温度を低くし過ぎると、雑菌の発生等、衛生上の問題が生じる可能性があるため、設定変更は段階的に注意して実施してください。				
使用エネルギー	電気				
任意項目	省エネルギー量 [kWh]	原油削減量 [k]	費用削減額 [千円/年]	投資額 [千円]	回収年 [年]
	2,780.0	0.700	55		
診断内容	高効率機への更新				投資改善
詳細	現状稼働しているボイラ(2t)は必要蒸気量に対して、容量も過大であり稼働率も低いため、低効率な運転となっています。導入当時の生産量に応じて容量選定を行っていたと考えられますが、現在の生産量に応じた最適な容量の高効率ボイラに更新して、省エネを図ることが可能です。				
使用エネルギー	ガス(LPG)				
任意項目	省エネルギー量 [kg]	原油削減量 [k]	費用削減額 [千円/年]	投資額 [千円]	回収年 [年]
	10,680.0	13.998	1,100	5,000	4.5
診断内容					
詳細					
使用エネルギー					
任意項目	省エネルギー量 []	原油削減量 [k]	費用削減額 [千円/年]	投資額 [千円]	回収年 [年]
診断内容					
詳細					
使用エネルギー					
任意項目	省エネルギー量 []	原油削減量 [k]	費用削減額 [千円/年]	投資額 [千円]	回収年 [年]